

創業以来の技術の蓄積を新技術開発に活かす 独自技術を重視する社員参加の研究開発型化学メーカー

同社は1920年に合成染料の製造業として創業。有機化学工業製品の製造業として日本で最も古い会社の一つであり、研究開発型の化学メーカーとして事業を営んでいる。創業以来、独自技術の開発を重視、社員の2割が製品開発に関わっており、その成果として多くの国内外特許を取得している。売上の大半は自社で開発した製品が占めている。現在、培ってきた独自技術を駆使し、高品質の新規染料の開発、電子材料分野や新エネルギー分野の高度なニーズに対応した新規の素材や色素の開発を行っている。

所在地	和歌山県和歌山市小雑賀一丁目1番11号	設立	1958年
電話/FAX	073-422-3114/073-424-7330	資本金	1,500万円
URL	http://www.nikka-c.co.jp/	従業員数	79人
代表者	代表取締役社長 田中 俊一		



信頼されるメーカーをモットーに、顧客ニーズに応える製品改良と新製品開発を実践

経営理念である「額に汗して、よりよい商品を製造し、より多くの人々に喜んでいただく」を実践している。独自技術を基に時代が求めるニーズに即した高品質の製品を開発。“確かな品質・価格・安定供給と末永くお取引していただける信頼されるメーカー”をモットーに、さまざまな需要へ対応している。エンドユーザーを訪問することでニーズや課題を把握し、販売子会社の日化（株）と技術部門、製造部門が一体となって迅速な技術フォローと課題解決、既存製品の改良と新規製品の開発に取り組んでいる。



社是（行動指針）

製品情報のデータベース化、生産拠点の集約等、生産性向上に取り組み業務を効率化

全社方針により業務の生産性向上を掲げ、全部門で月例課題検討会と年間課題計画策定を行い、プロジェクトごとに各種業務の効率化に取り組んでいる。製品情報のデータベース化と検索作業の効率化を実施し、部門間での情報共有と有効活用を促進することで業務処理スピードを迅速化した。また、主力紙用液体染料（多品目）の生産効率化の実績として、3工場5作業所に点在していた生産を新設した1工場に集約し、設備の大型化、効率化、工程改善を実施し、生産回数の大幅削減と生産能力の拡大を実現した。



効率的な業務で生産性を向上

独自研究の活用、及び公的機関との共同研究により新技術のイノベーション創出

同社では独自技術を活用したイノベーションの創出に積極的に取り組んでいる。光重合開始剤の開発では、プリント配線基板のパターン化に新規開発技術を適用したことで、省力化とオゾン発生抑制を実現した。また、新規なポリエステル系偏光フィルム用二色性アゾ色素の開発では、公的機関と共同研究を実施し、建材用の遮光フィルムを利用した空調の省力化に取り組んでいる。再生可能なエネルギーとして期待されている水素関連では、可視光で水からの発生に利用できる増感色素の開発に公的機関と共同で取り組んでいる。



イノベーション創出への積極的な取組